



日仏交流160周年
160^e Anniversaire
des relations
franco-japonaises

日仏討論会 DÉBAT FRANCO-JAPONAIS

入場無料・申し込み不要

Entrée libre
sans inscription

日仏同時通訳付
traduction simultanée

平和と ダイバーシティ

大学におけるLCBTQの人々の受入れの促進

ダイバーシティを創造性の源とし、大学と学生に益をもたらすには？
LCBTQの人々の大学での受入れの促進のための
教員、職員、学生の役割とは？

Paix et diversité encourager l'intégration des personnes LCBTQ dans les universités

2018. **6.10** 〈日〉 15:00-18:00 **北海道大学** 学術交流会館 講堂

le 10 juin 2018 | 15h-18h | Université de Hokkaido, Salle de conférence des échanges académiques

[パネリスト Panélistes]



[司会 Modératrice]

お問い合わせ Renseignements 東京・札幌: dg.debat.contact@institutfrancais.jp

共催 在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本、北海道大学(文学研究科応用倫理・応用哲学研究教育センター、法学研究科附属高等法政教育センター) 助成 アンステイチュ・フランセ・パリ本部 協力 在日フランス人民協会、アリアンス・フランセーズ札幌、全日本空輸株式会社
Co-Organisateurs: Ambassade de France / Institut français du Japon, Université de Hokkaido (Center for Applied Ethics and Philosophy, The Advanced Institute for Law and Politics) Soutiens: Français du monde, Alliance française de Sapporo, ANA



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



ダイバーシティは、フランスが大切にしている価値観です。それ故に、フランスは、世界各地におけるのと同様に、日本においても、皆様との対話を推し進めたいと願っています。2016年、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本は、企業におけるLGBTの人々の受入れについて、また2017年には明治大学で同性婚とトランスジェンダーの人々の社会での居場所をテーマとする2つの討論会を行いました。本年はさらにこのテーマを深めるべく、LGBTの人々の大学での受入れについての日仏対話を開催します。

6月9日10日に国際基督教大学と北海道大学で開催する討論会に、フランスでダイバーシティを推進する協会「もう一つの輪」のスポークス・パーソンのカトリーヌ・トリボン氏と、フランス屈指のビジネス・スクール、エセック経済商科大学院のダイバーシティ・リーダーシップ研究所長の高木順子氏を招聘しています。私達は、日本各地でここ数年来、自治体、協会、企業、大学でLGBTの人々の権利向上のためのイニシアティブが生まれていることを喜び、「多様性と調和」をテーマに掲げる2020年のオリンピック・パラリンピックまでに、全国レベルで具体的な実りが生まれることを願っております。

ローラン・ピック 駐日フランス共和国特命全権大使



パネリスト Panélistes

共通 東京 + 札幌 Tokyo et Sapporo



高木順子 フランスのビジネススクール、エセック経済商科大学院大学リーダーシップ・ダイバーシティ研究所所長

Junko TAKAGI, présidente de la Chaire de Leadership et de Diversité de l'école de commerce française ESSEC

フランスで最も権威あるビジネススクールの一つであるエセック経済商科大学院大学で、リーダーシップ、ダイバーシティ、多文化交流の視点から経営学を教えている。企業の役員構成のダイバーシティの比率、多文化アイデンティティ、教育管理技術の実践的習得について特に研究している。スタンフォード大学社会学博士号取得、エセック経済商科大学院大学のダイバーシティ・リーダーシップ研究所は、ロレアル社が後援するシンクタンクで、研究者、企業家、学生が多様性とリーダーシップに関する新たなアプローチと革新的な視点を養うため交流と研鑽をする機関となっている。そこでは知識、行動様式、態度の伝達を通して革新的アプローチの普及を目指している。



カトリーヌ・トリボン ダイバーシティ推進を使命とする、「もう一つの輪」協会スポークス・パーソン

Catherine TRIPON, porte-parole de l'Association de promotion de la diversité l'Autre Cercle

FACE (反差別的排除行動財団)における企業の社会的責任パートナーシップ局長。民間でマーケティングビジネスに携わった後、フランス最大の人事専門家の協会(ANDRH)で副会長を務め、政府における男女間平等を啓蒙するための「ダイバーシティラベル」を創設した。トリボン氏はまた20年近い平等、多様性、差別に関する協会活動においても知られている(「もう一つの輪」協会のスポークス・パーソン、平等研究所理事等)。前地方議会議員、反差別平等高等機関(HALDE)のメンバーも務める。



鈴木賢 明治大学法学部教授、北海道大学名誉教授

Ken SUZUKI, professeur de droit à l'Université Meiji, professeur émérite à l'Université de Hokkaido

北海道大学法学部卒、北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士(法学)、北海道大学法学研究科教授を経て現職。研究分野は、中国法、台湾法、アジア法、比較法。研究テーマは、華人社会における民主化と法、非西欧社会における法的世界の成立、多元的な家族と法の対応など。台湾における同性婚法制化の動向にも詳しい。主要著書に『現代中国法入門』第7版(共著、有斐閣)ほか多数。

東京 Tokyo



増原裕子 株式会社トロワ・クルール代表取締役

Hiroko MASUHARA, PDQ de l'entreprise de conseil en diversité Trois Couleurs

株式会社トロワ・クルール代表取締役、LGBT法連合会事務局長代理。2011年よりレズビアンであることをオープンにして社会に対して積極的に発信をしている。慶應大学大学院修士課程、慶應大学文学部卒業。在ジュネーブ国際機関日本政府代表部、会計事務所、IT会社勤務を経て起業。ダイバーシティ経営におけるLGBT施策の推進支援を手がける。経営層、管理職、人事担当者、営業職、労働組合メンバー等を対象としたLGBT研修・講演の実績多数。著書に『同性婚のリアル』等4冊がある。

札幌 Sapporo



瀬名波楽潤 北海道大学大学院文学研究科教授、同応用倫理・応用哲学研究教育センター員兼任

Eijun SENAHARA, professeur à l'Université de Hokkaido

英文学博士(Ph.D 米国サウスカロライナ大学)。ジェンダーやセクシュアリティの観点から英文学作品を主に研究し、センター員としてはジェンダー・セクシュアリティに関するオムニバス授業の企画開講や講演会・シンポジウムを企画開催している。「札幌市パートナーシップ宣誓制度」施行賛同人の一人。大学内のLGBTサークル「虹の集い」の顧問も務め、LGBTの社会的理解の拡大や権利向上のために活動している。

司会 Modérateur



アムール=マヤール・オリビエ

国際基督教大学教養学部准教授

Olivier AMMOUR-MAYEUR, maître de conférences en littérature, cinéma et études de genre, directeur adjoint du Centre des études de genre, International Christian University

開会の言葉 Ouverture

日比谷潤子 国際基督教大学学長

Junko HIBIYA, Présidente de International Christian University

閉会の言葉 Clôture

ローラン・ピック 駐日フランス特命全権大使

Laurent PIC, Ambassadeur de France au Japon

司会 Modératrice



サラ・ヴァンディ

在日フランス大使館書籍・討論会部門アタシェ

Sarah VANDY, attachée pour le livre et le débat d'idées, Ambassade de France au Japon

開会の言葉 Ouverture

長谷川晃 北海道大学理事・副学長、法学研究科教授

Ko HASEGAWA, vice-président de l'Université de Hokkaido

閉会の言葉 Clôture

山本文彦 北海道大学大学院文学研究科長、文学研究科教授

Fumihiko YAMAMOTO, directeur de Graduate School of Letters

会場 Lieux

国際基督教大学 国際会議場 ダイアログハウス2階

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-2

International Christian University, Dialogue House

3-10-2, Osawa, Mitaka-shi, Tokyo

武蔵境駅：南口2番乗り場から小田急バス(「境93」国際基督教大学)行終点

三鷹駅：南口5番乗り場から小田急バス(「鷹51A」国際基督教大学)行終点

Station Musashisakai Sortie Sud, Bus 93, quai 2, à destination de ICU

Station Mitaka Sortie Sud, Bus 51A, quai 5, à destination de ICU

北海道大学 学術交流会館 講堂

〒060-0808 北海道札幌市北区北8丁目5

Université de Hokkaido, Salle de conférence des échanges académiques

Au deuxième étage, Ouest 5 Nord 8, Nord, Sapporo-shi, Hokkaido

JR「札幌駅」下車、徒歩7分 | 市営交通・地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩7分

Métro Nanboku ligne, Station Kita-Juni-Jo, 7 minutes à pied